

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 9	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳) Smoking, alcohol and gastric cancer risk in Korean men: the National Health Insurance Corporation Study. 韓国人男性における喫煙、飲酒と胃癌との関連: National Health Insurance Corporation 研究	
執筆者 Sung NY, Choi KS, Park EC, Park K, Lee SY, Lee AK, Choi IJ, Jung KW, Won YJ, Shin HR.	
掲載誌 (番号又は発行年月日) Br J Cancer. 2007 Sep 3;97(5):700-4.	
キーワード 喫煙、飲酒、胃癌、部位	
要 旨 目的: 各発症部位別に分類した胃癌と喫煙、飲酒との関連を検討する。	
方法: 医療保険プランに入っている 669570 人の韓国人男性を 6.5 年間追跡した。	
結果: 追跡期間中に 3452 件の胃癌がみられ、そのうち 127 件は胃体部もしくは上 3 分の 1 の部位から発生しており、2409 件は遠位部の癌、1007 件は分類不能であった。喫煙は、胃体部もしくは上 3 分の 1 の部位の癌 (調整後の相対危険度(a RR) 2.2、95%信頼区間(95%CI):1.4-3.5)、遠位部の癌 (a RR 1.4、95%CI:1.3-1.6) と中等度の関連があった。飲酒は遠位部の癌 (a RR 1.3、95%CI:1.2-1.5)、全胃癌 (a RR 1.2、95%CI:1.1-1.4) と正の関連があった。喫煙と飲酒で両方とも暴露の多い人たちを対象に検討したところ、リスクはさらに高かった。胃体部もしくは胃の上側 3 分の 1 の部位の癌では、喫煙との関連が遠位部の癌より強かった。	
結論: 喫煙との関連は胃体部もしくは胃の上側 3 分の 1 の部位の癌で強く、飲酒は全胃癌もしくは遠位部の癌で関連があった。	